

バイオベンチャーの発展に向けて

- 日時 2017年3月13日(月) 13:30~18:00 (交流会含む)
- 会場 東京ステーションコンファレンス 602 (サビアタワー6階/東京都千代田区)
- 参加費 講演会: 無料/交流会: 会員無料 非会員1,000円
- 定員 100名

近年、バイオエコノミー (Bioeconomy) という概念が国際的に提唱されており、OECDは、2030年にはバイオテクノロジーを利用した産業が全GDPの2.7% (約200兆円、OECD加盟国) 規模に成長する見通しを立てています。我が国政府も日本再興戦略2016において、再生医療などバイオ産業の市場規模の拡大に向けた目標を掲げています。世界では高度技術による製品の多くが大企業からベンチャーへとシフトされつつあり、今後のバイオベンチャーの創生・安定経営が重要な課題となります。

本講演会ではライフサイエンス分野の第一線で活躍されている方々をお招きし、研究機関向けの国の知財等支援策、企業が日本のベンチャーに期待すること、大学発出資事業会社によるベンチャーへの支援事例紹介・ゴールを見据えたストーリー等をご紹介頂き、IPSNからはバイオベンチャー育成に向けた新たな取組みについて紹介させていただきます。パネルディスカッションでは、バイオベンチャー発展に向けて私たちが今何をすべきか議論します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

プログラム

(2月現在)

- 13:30~13:40 開会挨拶 知的財産戦略ネットワーク(株) 代表取締役社長 **秋元 浩**
- 13:40~14:05 【AMEDにおけるアカデミア発研究開発成果の支援】
天野 斉 (日本医療研究開発機構(AMED) 知的財産部長)
- 14:05~14:30 【武田の研究アライアンスのアプローチ - ベンチャーイノベーションへのアクセス】
村西 廣哉 (武田薬品工業(株)本部長室 研究アライアンスグループグループマネージャー)
- 14:30~14:55 【大学発ベンチャーとイノベーション・エコシステム】
各務 茂夫 (東京大学教授/産学協創推進本部イノベーション推進部長)
- 14:55~15:10 ~休憩~
- 15:10~15:35 【慶應義塾大学のベンチャーキャピタルについて】
山岸 広太郎 (株)慶應イノベーション・イニシアティブ 代表取締役社長)
- 15:35~15:55 【国際投資家から見た知的財産権とプロジェクト管理~企業経営
~グローバル市場で戦うための準備~】
堀越 康夫 (知的財産戦略ネットワーク(株) 取締役)
- 15:55~16:05 ~休憩~
- 16:05~17:00 **パネルディスカッション** (モデレータ **秋元 浩**)
天野氏/村西氏/各務氏/山岸氏/堀越
- 17:00~17:05 閉会挨拶 知的財産戦略ネットワーク(株) 取締役 **高島 義典**
- 17:05~18:00 **交流会** (お飲み物と軽食をご用意します)



- JR 東京駅直結
- 東京メトロ「大手町」駅 B7出入口直結

■お申込み方法：

- ①会社・大学・機関名②部署、③お名前、④お電話番号、⑤メールアドレス、をご記入の上、Eメールにてお申し込みください。
- 宛先：seminar@ipsn.co.jp
- ※講演会のみ参加される方はその旨お知らせ下さい。

■お問い合わせ先：

金野陽子 (このようこ) 知的財産戦略ネットワーク(株)
Tel: 03-5288-5401 Fax: 03-3215-1103
Email: konno-yoko@ipsn.co.jp
WEBサイト <http://www.ipsn.co.jp>